

令和6年度 学部 受入れ不可科目一覧

「※別紙参照」と記載している学科等についてはそれぞれ別紙のとおりです。

英語圏言語文化コースと音楽表現コースは『受入可』の科目を記載しておりますので、ご注意ください。

《文教育学部》

学科・コース		科目名	学科・コース		科目名	
人文科学科	哲学・倫理学・美術史	哲学研究指導Ⅰ	人間社会科学科	子ども学	子ども学研究指導Ⅰ	
		哲学研究指導Ⅱ			子ども学研究指導Ⅱ	
		倫理学研究指導Ⅰ			卒業論文	
		倫理学研究指導Ⅲ			子ども学選択基礎	
		美術史学研究指導Ⅲ			子ども学フィールドワーク	
	子ども学インターンシップ					
	地理学	地理学フィールドワーク演習		芸術・表現行動学科	舞踊教育学	モダンダンステクニック(初級)
		地理学フィールドワークA				モダンダンス・テクニック(中級)Ⅰ
		自然地理学フィールドワーク				モダンダンス・テクニック(中級)Ⅱ
		人文地理学フィールドワーク				モダンダンス・テクニック(上級)
		地理学フィールドワークB				舞踊創作法実習(舞踊構成法)
地理学フィールドワーク		舞踊創作法実習(即興制作)				
言語文化学科	日本語・日本文学	演習科目及び研究指導	音楽表現			※別紙参照
	中国語圏言語文化	中国現代文化特別演習				国際協力方法論Ⅱ(1)・(2)
		中国現代語学特別演習				平和構築論Ⅱ(1)・(2)
		中国古典文献特別演習				文化変動論Ⅱ
		中国古典文学特別演習				グローバル化と言語教育Ⅱ
	英語圏言語文化	※別紙参照		文化と人間関係Ⅱ		
	仏語圏言語文化	基礎仏作文演習Ⅱ		舞踊教育法実習(初等教育)	オセアニア社会文化論Ⅱ	
		中級仏作文演習Ⅱ		舞踊教育法実習(中等教育)	実習科目全般	
		上級仏語コミュニケーション演習Ⅲ		舞踊上演法実習(各級)	グローバル文化学方法論	
		上級仏語コミュニケーション演習Ⅳ		舞踊表現技法実習	グローバル文化学特論	
		仏語圏文化資料研究Ⅰ		陸上競技	卒業研究	
		仏語圏文化資料研究Ⅱ	器械体操			
	日本語教育	日本語教育法演習Ⅰ	日本舞踊実習			
日本語教育法演習Ⅱ		バレエ実習				
日本語教育法演習Ⅲ		水泳実習				
人間社会科学科	社会学	卒業論文	グローバル文化学環			
		社会学研究指導Ⅰ				
		社会学研究指導Ⅱ				
		社会学選択基礎				
	教育科学	教育科学研究指導Ⅰ				
		教育科学研究指導Ⅱ				
		学校インターンシップ				

《理学部》

学科	科目名
数学科	数 学 講 究
	数 学 輪 講
化学科	特 別 研 究 I
	特 別 研 究 II
	実 験 科 目 は 不 可
生物学科	特 別 研 究 I
	特 別 研 究 II
	生 物 学 演 習 I
	生 物 学 演 習 II
	生 物 学 研 究 基 礎
情報科学科	演 習 ・ 実 習 科 目 は 不 可

《資格関係》

資格名	科目名
教員免許状(全校種・全教科)	教 育 実 習
“ ”	事 前 ・ 事 後 指 導
“ ”	教 職 実 践 演 習
学芸員(博物館)	博 物 館 実 習

《生活科学部》

学科	講座	科目名
食物栄養学科		「基礎有機化学」「食物学概論」以外不可
人間生活学科	生活社会科学	演 習 ・ 実 習 科 目 は 不 可
	発達臨床心理学	※科目等履修生・聴講生の募集は行いません
人間生活学科	生活文化学	服 飾 文 化 実 習
		※ 服 飾 制 作 実 習
心理学科		※ 被 服 製 作 実 習
		心 理 学 基 礎 演 習
		心 理 統 計 法 (心 理 学 統 計 法)
		心 理 学 基 礎 実 験 演 習 (心 理 学 実 験)
		心 理 学 基 礎 実 践 演 習 (心 理 学 演 習)
		心 理 学 実 践 演 習 : 質 問 紙 法
		心 理 学 実 践 演 習 : 質 的 研 究 法
		心 理 実 習 I
		心 理 実 習 II
		心 理 臨 床 ア セ ス メ ン ト (心 理 的 ア セ ス メ ン ト)
		心 理 臨 床 に 関 す る 法 と 制 度 (関 係 行 政 論)
		心 理 職 の 職 業 倫 理 (公 認 心 理 師 の 職 責)
		心 理 学 専 門 英 語

※「服飾制作実習」及び「被服製作実習」は、資格取得のための科目等履修ならば受入れを許可します。

《共創工学部》

学科	科目名
文化情報工学科	文 化 情 報 工 学 基 礎 演 習

注1)上記に記載がない場合でも、論文執筆のための研究指導やゼミと、卒業論文及び特別研究などは受入れができません。

注2)上記の科目以外を希望する場合も必ず授業担当教員(非常勤講師の場合は学科長、コース・環・講座主任)に確認し、了承を得てください。記載の無い科目であっても必ず履修が認められるとは限りません。

※英語圏言語文化コースと音楽表現コースは以下の科目に限り受け入れます。

1.英語圏言語文化コース 正規外学生受入れ科目一覧

英語圏言語文化コースの開講クラスについて科目等履修生・聴講生として履修・聴講を希望される方は、「科目等履修生・聴講生履修希望届」用紙を記入の上、前期は2月5日(月)、後期は6月25日(月)までに英文研究室(engjosyu@cc.ocha.ac.jp)に提出してください。(ファックス・郵便・電子メールでも結構です。また、英文研究室が閉室している場合は、学務課(学生センター棟1階)に英文研究室宛であることを伝えて、預けてください。)英文研究室で面接の上、履修・聴講を認めるか判断します。面接日時は、後日連絡します。

科目等履修生・聴講生を受け入れる用意のある英語圏言語文化コースの科目は以下に挙げた科目です。文教育学部時間割には*が付いていますので、確認してください。教員名の後に▲が付いている科目については受講条件がありますので、学務課及び大学ホームページにおいて閲覧可能な「開講科目の内容」で確認してください。聴講生の場合は受講条件を満たす必要は必ずしもありませんが、考慮に入れて希望するクラスを決めてください。

英文学特殊講義Ⅰ[前期]	未定教員
英文学特殊講義Ⅴ[後期]	丸谷徳嗣教員
英文学特殊講義Ⅷ[前期]	高桑晴子教員
英語学特殊講義Ⅰ[前期]	水野輝之教員▲
英語学特殊講義Ⅴ[前期]	中西公子教員▲
英語学特殊講義Ⅵ[後期]	野口徹教員▲
英語学特殊講義Ⅷ[後期]	山腰京子教員▲
英文学史Ⅰ(1)(2)[1・2学期]	未定教員
英文学史Ⅱ[後期]	高桑晴子教員
米文学史Ⅰ(1)(2)[1・2学期]	戸谷陽子教員
米文学史Ⅱ[後期]	戸谷陽子教員
英文法Ⅰ(1)(2)[1・2学期]	水野輝之教員
英文法Ⅱ[後期]	水野輝之教員
英語学入門(1)(2)[1・2学期]	山腰京子教員▲
英文法演習[後期]	野口徹教員▲
英語学概論[後期]	水野輝之教員▲
英語音声学演習[前期]	アレン教員
英語圏事情(1)(2)[1・2学期]	ロウ教員
英米文学演習(初級)[前期]	高桑晴子教員
英会話演習(初級)[前期]	ロウ教員▲
英会話演習(中級)[後期]	アレン教員▲

英語圏言語文化コース
科目等履修生・聴講生履修希望届

【出願内容】 科目等履修生 ・ 聴講生 (どちらかに○をつけてください)

フリガナ

氏名 _____

連絡先 [住所] _____

[TEL] _____

[E-mail] _____

履修・聴講を希望する科目・教員名

履修・聴講を希望する理由

高等学校以降の学歴 (学校名／専攻／入学・卒業年度)

受付日

音楽表現コース 正規外生受入れ科目一覧

※履修を希望する場合は、事前に担当教員の許可を得てください。

連絡先:音楽表現コース助手室(文教2号館108室)

科目名	単位数	履修年次	教員名	開講学期	受入可否
西洋音楽史Ⅰ	2	Ⅰ	井上 登喜子	後期	○
西洋音楽史Ⅱ	2	Ⅱ	井上 登喜子	前期	○
民族音楽学	2	Ⅲ・Ⅳ	増野 亜子	前期	○
ピアノレパートリー研究 BI(1)・(2)	2	Ⅱ～Ⅳ	小坂 圭太	前期	○
ピアノレパートリー研究 BII(1)・(2)	2	Ⅱ～Ⅳ	小坂 圭太	後期	○
日本音楽史概論	2	Ⅰ	福田 千絵	後期	○
音楽学概論	2	Ⅰ	井上 登喜子	前期	○

※上記以外の科目については受入れできません。